



下水道事業 持続可能な財政運営を

原 裕司 議員

使用料を見直し、健全な経営に努める
上下水道部長

令和4年度末の状況 (単位 万円)

旧町村	合併当初 基金の額	取り崩し額	基金残高
佐屋町	6,900	55,600	-48,700
立田村	199,100	88,100	111,100
八開村	700	9,800	-9,100
市	206,700	153,500	53,300

▲農業集落排水事業の基金の推移

問 合併前に旧自治体がそれぞれの下水道事業をスタートしたことで事業整備形態や使用料に違いが生じている。事業を持続可能にするためには、基金を充たしながら健全な財政運営が必要だ。当時の旧町村が下水道事業に持ち寄った基金額と基金の運用状況は。

答 合併当時の農業集落排水事業に充当するための基金額は、旧佐屋町約6900万円、旧立田村約19億9100万円、旧八開村約700万円だ。令和4年末までの基金の取り崩し額は、佐屋区域が約5億5600万円、立田区域約8億8100万円、八開区域約9800万円になり、佐屋・八開のマイナス分を旧立田村の基金から補っている。近年では、毎年約1億6千万円の基金を取り崩し、7年度には枯渇する厳しい状況だ。今回下水

問 能登半島地震における出動要請と活動内容は。

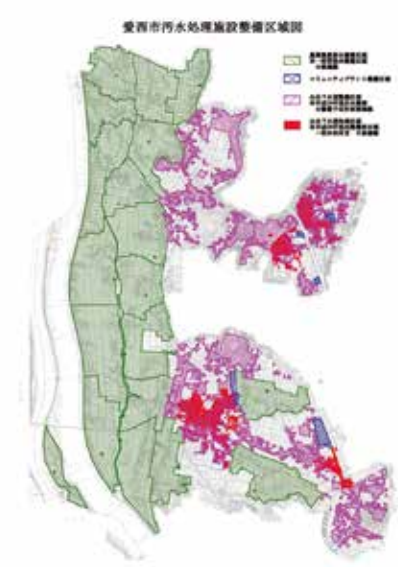
答 愛知県知事から緊急消防援助隊として消火小隊と後方支援小隊の出動

被災地への出動要請と活動内容は

問 福原地区防災ステーションに水防センターが整備されるが、仮設住宅用地の考えは。

道使用料の見直しを進めることで健全な経営に努める。

答 福原地区防災ステーションに水防センターが整備されるが、仮設住宅用地の考えは、



▲汚水処理施設設備整備区域